

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大和田小	学校	児童数	59
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.10	14.00	29.69	31.03	40.76	9.57	152.03	17.07	46.31
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.03	13.93	32.76	33.10	34.97	9.62	150.73	13.00	50.34
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子は、2種目（握力・立ち幅跳び）で大阪市平均を上回ったが、6種目及び体力合計点でも大阪市平均を下回る結果となった。また女子は、5種目（握力・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ）で大阪市平均を上回ったものの、体力合計点で大阪市平均を下回る結果となった。特に、「上体起こし」・「長座体前屈」・「反復横跳び」の3種目においては、大阪市平均、全国平均と比べ大きな差が見られる。

しかしながら、男女ともに質問事項「運動やスポーツをすることは好きですか」「体育の授業では進んで学習に参加していますか」において、肯定的回答が大阪市平均、全国平均を上回っており、日ごろから体を動かそうとしていることがわかる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

休み時間に、運動場で積極的に外遊びをする児童が多い。クラスでのみんな遊びなどを取り入れ、体を動かすことに消極的な児童にも楽しんで体を動かす機会を増やしている。また、全校でのなわとび週間やかけ足週間など目標をもって体を動かす取組も実施している。

体育の授業では、反復横跳び（俊敏性）の結果を受け、つま先運動や体幹運動を準備運動に取り入れ、継続して行えるようにしている。その結果、冬季にも体力テストを実施したところ、同一集団において、改善が見られた。今後は、引き続き、俊敏性の向上につながる取組を体育科の授業や休み時間に計画していく。